

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 スターツ出版株式会社

コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 修一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 松田 茂之

TEL 03-6202-0311

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	964	△10.8	16	△87.9	22	△84.1	18	△81.1
25年12月期第1四半期	1,081	6.4	135	93.5	138	95.9	96	14.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	9.48	—
25年12月期第1四半期	50.04	—

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
26年12月期第1四半期	3,604		2,961	82.2			1,542.70	
25年12月期	3,696		3,002	81.2			1,563.94	

(参考)自己資本 26年12月期第1四半期 2,961百万円 25年12月期 3,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△11.8	190	△28.6	200	△29.6	120	△31.8	62.50
通期	4,500	3.0	500	6.6	515	3.6	320	14.3	166.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	1,920,000 株	25年12月期	1,920,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	— 株	25年12月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	1,920,000 株	25年12月期1Q	1,920,000 株

(注)当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和などにより、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社が属する出版業界におきましては、スマートフォンやタブレットPC等の普及により情報伝達手段の多様化が進み、紙メディアの市場は緩やかに、かつ連続的に縮小しております。このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という企業ビジョンを具現化する中期戦略に基づき、「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」、「地域密着ドメイン」の3つの事業ドメインにおいて、経営資源の「選択と集中」を図るとともに、当第1四半期累計期間より「ファンとの共創経営」を経営方針とし、BPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）による業務効率の改善とCS（カスタマー・サティスファクション）への投資により、顧客満足度の向上に注力してまいりました。

このような営業活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は9億64百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は16百万円（前年同期比87.9%減）、経常利益は22百万円（前年同期比84.1%減）、四半期純利益は18百万円（前年同期比81.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、当第1四半期会計期間末現在で約200万人の会員数を有する女性向けウェブサイト「オズモール」の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、「東京女子の恋とキレイを応援！」をコンセプトに独自基準で厳選したビューティーサロン、ホテル、レストランなどの利用予約サービスを提供しております。また、「観劇×ディナー予約」などの体験型イベントと組み合わせたオリジナルセットプランの提供や更なる利用者の増加が見込まれるスマートフォンサイトやアプリの機能の拡充などを積極的に行っており、送客手数料の売上は堅調に推移しております。「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向け情報誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」などのメディア展開とオリジナルイベントを組み合わせたソリューションビジネスを展開しております。広告売上につきましては、景気の回復にともなう広告環境の変化によりテレビ等のマスメディアへのシフトが顕著であり、前年同期と比較しますと減少しております。また、紙メディアの販売売上につきましては、消費者のスマートフォン等の他メディアへの移行による市場縮小の影響もあり、前年同期と比較しますと減少しております。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は6億79百万円（前年同期比16.0%減）、営業利益は15百万円（前年同期比88.1%減）となりました。

<投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、ターゲット別小説投稿サイトの運営と書籍の発行を継続的に行っております。ターゲット別小説投稿サイトの運営におきましては、若年層向けのケータイ小説投稿サイト「野いちご」と20代から40代の女性向けの小説投稿サイト「Berry's cafe」の2つの投稿サイトを運営しており、両サイトともにスマートフォンアプリが好評を得ておりダウンロード数の増加にともないPV数も順調に増加しております。書籍の発行におきましては、主力商品である「ケータイ小説文庫」シリーズが若年層から安定的な支持を得ており、特にホラーをテーマにした「ブラックレーベル」の売上が好調に推移し、前年同期と比較しますと販売売上は増加しております。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は1億77百万円（前年同期比33.1%増）、営業利益は22百万円（前年同期比315.6%増）となりました。

<地域密着ドメイン>

地域密着ドメインにおきましては、地域に密着して信頼の輪を広げ、地域の活性化に貢献することを事業の目的とし、地域密着型フリーペーパー「アエルデ」の広告掲載営業活動と企業の販促物の制作請負を行う事業を継続的に展開してまいりました。「アエルデ」においては、飲食店等の情報をクーポン型の広告として掲載する広告営業活動を継続的に行っておりますが、紙クーポン広告市場の縮小とスマートフォンの普及による予約サイトとの競争激化により前年同期と比較しますと売上は減少しております。

このような営業活動の結果、地域密着ドメインの売上高は1億8百万円（前年同期比22.6%減）、営業利益は4百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末と比べ91百万円減少し、36億4百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が62百万円増加した一方で、売掛金が2億2百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ92百万円減少し、30億92百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末と比べると0.7百万円増加し、5億12百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ50百万円減少し、6億42百万円となりました。流動負債は、賞与引当金が57百万円、ポイント引当金が22百万円増加した一方で、未払法人税等が94百万円、買掛金が33百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べると50百万円減少し、6億11百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べると0.6百万円減少し、31百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べると40百万円減少し、29億61百万円となりました。これは主に、利益剰余金が39百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度に比べ62百万円増加し、9億95百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億35百万円(前年同四半期の得られた資金は1億41百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益を22百万円計上、減価償却費を25百万円計上し、売上債権が2億2百万円減少、賞与引当金が57百万円増加しましたが、一方で仕入債務が33百万円減少し、法人税等の支払額も1億23百万円発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18百万円(前年同四半期の使用した資金は8億40百万円)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が16百万円があった事によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は53百万円(前年同四半期の使用した資金は53百万円)となりました。これは全て前事業年度決算の剰余金処分である配当金の支払いによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、平成26年2月13日発表の「平成25年12月期 決算短信(非連結)」に記載しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932,468	995,157
売掛金	1,418,530	1,215,756
製品	40,057	32,426
仕掛品	19,897	17,904
前払費用	14,060	25,539
関係会社預け金	800,000	800,000
繰延税金資産	43,165	72,269
未収消費税等	-	6,433
その他	5,241	4,979
返品債権特別勘定	△83,892	△74,002
貸倒引当金	△4,318	△3,750
流動資産合計	3,185,210	3,092,713
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	23,730	23,258
工具、器具及び備品(純額)	23,150	22,029
有形固定資産合計	46,880	45,287
無形固定資産		
商標権	4,725	4,538
ソフトウェア	260,828	265,877
電話加入権	2,376	2,376
無形固定資産合計	267,929	272,791
投資その他の資産		
関係会社株式	30,000	30,000
投資有価証券	55,675	53,503
差入保証金	90,190	90,190
繰延税金資産	10,685	10,007
その他	10,067	10,362
投資その他の資産合計	196,619	194,064
固定資産合計	511,429	512,143
資産合計	3,696,639	3,604,857

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,608	196,147
未払金	60,704	46,004
未払法人税等	139,355	44,612
未払事業所税	3,760	931
未払消費税等	18,949	17,111
未払費用	19,720	33,320
前受金	6,042	4,508
預り金	35,750	39,593
賞与引当金	19,000	76,000
返品調整引当金	88,651	90,111
ポイント引当金	39,898	62,720
流動負債合計	661,442	611,061
固定負債		
退職給付引当金	32,428	31,820
固定負債合計	32,428	31,820
負債合計	693,870	642,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	1,913,683	1,874,288
株主資本合計	2,990,683	2,951,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,085	10,687
評価・換算差額等合計	12,085	10,687
純資産合計	3,002,768	2,961,975
負債純資産合計	3,696,639	3,604,857

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,081,051	964,518
売上原価	696,698	652,754
売上総利益	384,352	311,763
返品調整引当金戻入額	92,549	88,651
返品調整引当金繰入額	92,907	90,111
差引売上総利益	383,994	310,303
販売費及び一般管理費	248,317	293,897
営業利益	135,677	16,405
営業外収益		
受取利息	814	2,049
雑収入	2,224	3,305
その他	92	260
営業外収益合計	3,132	5,615
経常利益	138,809	22,020
税引前四半期純利益	138,809	22,020
法人税、住民税及び事業税	64,171	31,468
法人税等調整額	△21,454	△27,652
法人税等合計	42,716	3,815
四半期純利益	96,092	18,204

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	138,809	22,020
減価償却費	25,667	25,571
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,313	△567
賞与引当金の増減額(△は減少)	53,100	57,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△689	△608
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	8,945	△9,890
返品調整引当金の増減額(△は減少)	358	1,460
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△11,451	22,822
受取利息及び受取配当金	△815	△2,049
売上債権の増減額(△は増加)	△47,782	202,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,479	9,624
その他の資産の増減額(△は増加)	34	△11,216
仕入債務の増減額(△は減少)	11,139	△33,461
未払金の増減額(△は減少)	1,727	△28,874
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,365	△1,838
その他の負債の増減額(△は減少)	11,662	13,078
その他	△2,247	△3,036
小計	187,032	262,808
利息及び配当金の受取額	815	2,049
法人税等の支払額	△46,692	△123,174
法人税等の還付額	-	△6,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,154	135,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△342	△2,271
無形固定資産の取得による支出	△39,616	△16,347
関係会社預け金の預け入れによる支出	△800,000	-
差入保証金の差入による支出	△68	-
その他	-	△295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△840,027	△18,914
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△53,220	△53,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,220	△53,647
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△752,092	62,688
現金及び現金同等物の期首残高	1,436,610	932,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	684,517	995,157

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	808,298	133,131	139,620	1,081,051	—	1,081,051
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	808,298	133,131	139,620	1,081,051	—	1,081,051
セグメント別営 業利益	130,388	5,381	22,176	157,946	△22,269	135,677

(注) セグメント利益の調整額△22,269千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	679,238	177,153	108,126	964,518	—	964,518
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	679,238	177,153	108,126	964,518	—	964,518
セグメント別営 業利益	15,467	22,368	4,551	42,388	△25,982	16,405

(注) セグメント利益の調整額△25,982千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。